

足立区育英資金奨学生 秋期募集案内

～来年度、高校・大学等に進学を予定または在学している方へ～

足立区教育委員会では、将来、有用な人材を育成するため、平成28年4月からの奨学金貸付希望者を募集します。手続きは次のとおりです。

- 1 募集期間 **大学への提出期限：11月13日(金) 16時**
提出先：教務係、各校地事務室

~~平成27年10月1日(木)～平成27年11月30日(月)~~

※ 提出書類及び提出先は、裏面をご覧ください。区立中学3年生は学校の締切日までに提出。

2 応募資格

■通常枠

- (1)平成28年4月1日時点で、足立区内に引き続き6ヵ月以上居住していること。
- (2)心身ともに健全で、学業成績が優秀であること。(直近の学業成績が、平均点数より上位にあること。)
- (3)経済的理由で学資金の支払いが困難であり、同種の学資金を他から借り受けていないこと。
- (4)貸付の際に、次の①及び②の**連帯保証人をそれぞれ1名ずつ(合計2名)**立てられること。

①保護者又は後見人

②別世帯で、一定の職業をもち独立の生計を営み、貸付終了時の年齢が65歳以下であること。また、他の足立区育英資金の連帯保証人になっていないこと。

※①②の連帯保証人うち1名は、貸付日の6ヶ月前から引き続き足立区内に居住していること。

- (5)次の①～④のいずれかに在学していること(平成28年度入学予定者を含む)。

①大学 ②高等学校 ③高等専門学校 ④専修学校(修業年限2年以上の専門課程及び大学入学の資格を得られる修業年限3年以上の高等課程)

■特例枠(学校長特別推薦)

学業成績の基準に満たない場合に、通常枠の応募資格(1)(3)(4)(5)に該当している方で、**学習面や部活動、学級・学校活動、社会奉仕活動、専門分野などの特定の分野において、特に秀でた実績がある**場合は、学校長特別推薦として申し込むことができます。

(注)在学または卒業校にご相談ください。

3 募集人員と貸付金額、貸付期間

(1) 募集人員と貸付金額(無利子)

(平成28年度)

区 分		高校生・高等専門学校生 専修学校生(高等課程)	大学生・短期大学生 専修学校生(専門課程)
募集人員		通常枠 25名程度	通常枠 25名程度
		特例枠 3名程度	特例枠 3名程度
修学資金(月額)	国・公立	13,000円	35,000円
	私立	30,000円	45,000円
入学資金	国・公立	70,000円	200,000円
	私立	150,000円	300,000円

(2)貸付期間

平成28年4月から最短修業期間まで

～裏面も必ずご覧ください～

※注意事項

- ・修学資金は、年2回（4月下旬・9月下旬）半年分を奨学生からの請求に基づき、奨学生本人の預金口座に振込みます。
- ・ 入学資金の貸し付けは、平成28年4月下旬ころ、修学資金と併せて振り込みとなります。

4 選考方法

書類及び面接による選考のうえ、足立区育英資金貸付審議会の審議を経て決定します。

5 採用候補者の決定通知

平成28年2月中旬（予定）

6 提出書類

■通常枠

- (1)足立区育英資金奨学生採用申請書
- (2)足立区育英資金奨学生推薦調書 ※1
- (3)所得証明書 ※2

■特例枠(学校長特別推薦)

- (1)足立区育英資金奨学生採用申請書（特例枠）
- (2)足立区育英資金奨学生 学校長特別推薦調書(特例枠) ※1
- (3)所得証明書 ※2

※1 在學校または卒業校で記入してもらってください。

※2 裏面に所得証明書（①平成27年度住民税納税通知書の写し、②平成27年度特別徴収税額通知書の写し、③平成27年度住民税課税証明書で扶養人数が明記されているもの）①から③のうちいずれかひとつを貼付してください。

～提出書類作成にあたっての注意事項～

- ・平成27年度住民税課税証明書は、お近くの区民事務所または課税課で取得できます。ただし、平成27年1月2日以降に足立区に転入された方は、前住所地で取得してください。
- ・所得証明書を除く提出書類については、区立中学校に通学している方は学校で配布。その他の方は、下記のとおり学務課窓口で配布するほか、区のホームページからもダウンロードできますのでご利用ください。

（注）特例枠申請書・学校長特別推薦調書は区のホームページからのダウンロードができないため、学務課窓口にて配布しています。

区のホームページ

<http://www.city.adachi.tokyo.jp/gakumu/k-kyoiku/shochu/sodan-shogakukin.html>

7 償還について

貸付期間終了後の翌月から1年を経過した後、10年以内に償還していただきます。

※貸付金は無利子です。ただし、償還期限までに支払わなかった場合において、正当な理由がない認められる場合は、違約金を徴収することがあります。また、返済開始時に不測の事態が発生した場合は、返還相談も受け付けていますので、必ずお知らせください。

※貸付終了時に、償還説明会を開催します。

8 提出・問い合わせ先

※窓口へ持参(ただし、区立中学3年生は学校へ提出)してください。

足立区教育委員会 学務課助成係

足立区中央本町1-17-1 区役所南館5階

Tel 03-3880-5977（直通）



足立区育英資金奨学生採用申請書

※保護者氏名欄以外は、申請者本人が記入してください

1 本人

(フリガナ)		学 校 名	国立・公立・私立
氏 名			学校
	平成 年 月 日生 男・女		第 学年
現住所	〒 足立区		
電話番号	①8:30~17:00の連絡先		
	②自宅		

※学校名は在学学校名又は卒業学校名を記入してください。

2 志望学校

国立・公立・私立	国立・公立・私立
第一志望 学校	第二志望 学校

3 家族状況 (本人含む)

平成27年10月1日現在

氏名	年齢	続柄	職業

4 面接日程 (区役所で面接を受ける事ができない場合は×を記入してください)

	H27/12月24日 (木)	12月25日 (金)	H28/1月5日 (火)	1月6日 (水)
午前				
午後				
備考				

※受理番号

平 28 高校・大学

注意事項 ※欄は記入しないでください。

裏面へつづく

『足立区育英資金奨学生採用申請書』記載上の注意事項

1 本人の欄

- ① 氏名にはフリガナをつけてください。
- ② 学校名については、国立・公立・私立の該当項目に○をして、在学学校名又は卒業校名を記入してください。
- ③ 電話番号は必ず記入してください。

2 志望学校の欄

- ① 入学志望学校は、国立・公立・私立の該当項目に○をして学校名を記入してください。
- ② 具体的に志望学校が決まっていない場合でも、必ず現在の志望学校を記入してください。

※ 採用決定後の変更は可能です。

3 家族状況

- ① 本人氏名も含めて記入してください。
- ② 年齢については平成27年10月1日現在で記入してください。
- ③ 続柄は本人からみた場合を記入してください。
- ④ 職業については詳しく記入してください。
 学生の場合は在学学校名、学年を記入してください。
 例 銀行員、ガラス加工業、・・・・・・・・
 ○○高校3年、○○大学4年、・・・・

4 面接日程

奨学生の選考は学業成績や家庭の経済状況の他に人物評価を含めて総合的に選考します。人物評価は15から20分程度の面接で採点します。期間中にどうしても面接に出席できない場合、出席できない日の午前・午後の欄に「×」を入れ、備考欄に出席できない理由（例：学校授業の為、模試の為等）を記入してください。

なお、面接の日程は募集締め切り後教育委員会が調整し、本人宛に後日指定した日をご連絡いたします。

5 貸付を希望する理由の欄

採用決定する為の重要な資料になりますので、申請者本人ができるだけ詳しく記入してください。

本人以外が記入した場合は、受付できません。

6 その他

黒か青色のボールペン、または、万年筆を使用してください。

申請年月日及び氏名を記入のうえ、必ず押印（スタンプ印は不可）してください。

本人・保護者、別の印鑑を使用してください。

〈 記載例 ② 〉

平成28年度採用用

足立区育英資金奨学生 学校長特別推薦調書 (特例枠)

秘

No.

生徒氏名	足立 花子	学校名	私立 ○○大学	学年	第 3 学年
------	-------	-----	---------	----	--------

(注)平均点数が3.1以上(オール3.0を含む)の方は「通常枠」で申請してください。

※学校名は在学名を記入してください。

1 他の奨学金への申請状況 (該当する制度にチェック等をお願いします。)

<input type="checkbox"/>	日本学生支援機構	<input type="checkbox"/>	東京都育英資金	<input type="checkbox"/>	東京都母子福祉資金
<input type="checkbox"/>	東京都生活福祉資金	<input type="checkbox"/>	各学校奨学金	<input checked="" type="checkbox"/>	重複申請なし
<input type="checkbox"/>	その他の奨学金	具体的に記入してください			

(注)他の奨学金と重複して申請している場合には、どの貸付を受けるかを決めていただきます。

2 担任所見 (できるだけ具体的に記入してください)

*本特別推薦に値する本人の頑張り、意欲やその他の活動評価について、具体的にその成果を記入してください。
 学業成績は平均点数に満たないが、どの教科も真面目に取り組んでおり前年後期の成績と比べると、格段の向上が見られる。
 ボランティアサークルの代表を務めていることから、近隣地域からの行事協力依頼に対して快く承諾している。夏祭りでは地域の方々と一緒に一体となって取り組み大成功を修め、グループのみでなく地域からの信頼も厚い。
 家庭状況は、両親で運送業を営んでいるが、この夏に父が病に倒れ病気休暇中である。そのため、急遽母がパート勤めに出ることになったが、来年高校生になる弟もいることから経済的に苦しく、進級が危ぶまれている。
 奨学金制度については、本人が返済する制度という事を十分理解しており、進級を実現するためにも、奨学金の貸付についてぜひお願いしたい。

3 学業成績

(①直近成績：第 2 学年・後期)

※参考値

科目	情報処理 I	情報処理 II	総合科目	物理学	スポーツ I	スポーツ II	運動学	心理学	英語	合計	平均点
①成績	3	2	2	2	3	3	2	4	5	26 点	2.8 点

(②直近前成績：第 2 学年・前期)

※参考値

②成績	2	1	2	2	3	3	3	2	4	22 点	2.4 点
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------	-------

(②から①の増減) ※記入例：①成績-②成績=増減

※参考値

増減	1	1	0	0	0	0	-1	2	1	+4 点	
----	---	---	---	---	---	---	----	---	---	------	--

(注)直近前と直近それぞれの成績とその増減を記載してください。

※記入不要：教育委員会で記入します。(4+5の合計)

点(50点満点)

4 学業に係る特筆すべき活動成果(※実績や日頃の取組姿勢から評価してください)[×5]

NO	評価項目	活動区分	主な実績等	評価(○を記入)				
				5	4	3	2	1
1	・学級活動、学校行事等他の生徒の模範となる行動 ・文化芸術、体育等の分野での活動成果(積極性・将来性)	<input checked="" type="checkbox"/> 学 習	英語の力が着実に伸びてきており、前期の成績も5でTOEIC-700を取得している。 ボランティアサークルに所属し、代表者として活躍している。中でも地域の行事に積極的に参加し、年記者と子供たちが楽しくふれあえるようにゲームの進行を行なうなど行事を大いに盛り上げている。また、テント張りや後片付けなどの裏方仕事も快く引き受けるため、地域の方々からの信頼も厚い。 その他にも得意の英語を活かし、外国人とのコミュニケーションを図った上で、その国ごとの屋台コーナーを作るなど国際色豊かな行事を展開し、とても喜ばれている。	5	④	3	2	1
<input checked="" type="checkbox"/> 部 活 動								
<input type="checkbox"/> 学級・学校活動								
<input checked="" type="checkbox"/> 社会奉仕活動								
<input type="checkbox"/> 専 門 分 野								

5 人物評価

[×1]

NO	評価項目	判定のポイント	主な回答内容	評価(○を記入)				
1	自分の考え(自立性)	自分の考え、自己把握、自分の考えを表現できる	人のためになることをしたい。	5	④	3	2	1
2	学習の意欲(積極性)	自ら学ぼうとする姿勢、新たな挑戦への意欲	英語が得意。他の教科も補習授業を受けるなど努力している。	5	④	3	2	1
3	進学の意欲(積極性)	進学に対する志望動機やその意欲	通訳の職に就く為、英語の勉強に力を入れている。	⑤	4	3	2	1
4	将来の目標(計画性)	卒業後の人生設計、将来への目標や希望	通訳の仕事に就きたいと考えている。	5	④	3	2	1
5	規律の遵守(堅実性)	誠実さと責任感、忍耐力、協調性、確実な償還への決意	奨学金は自分で必ず返済する。	⑤	4	3	2	1

6 学校長推薦総合所見 (できるだけ具体的に記入してください)

*本特別推薦に値する本人の頑張り、意欲やその他の評価について、全体的な評価を含めた総合的な所見を具体的に記入してください。
 学習面においては、進級後、補習授業などにも積極的に参加し、その成果が日ごとに現れてきている。
 前期の成績が、平均点数より上位には及ばなかったが、英語においては学年上位(○○番)であり、ボランティア活動などの実績から、特例枠として推薦するにふさわしい。本人は進級意欲があるが、経済的理由により進級が難しい。
 以上の状況により、足立区育英資金の奨学生にふさわしい人物である。

足立区長

上記の生徒を、足立区育英資金奨学生学校長特別推薦として適当と認め推薦いたします。

平成××年××月××日

在学または卒業校名 ○○大学

学校長名 △△ △△

公印

※この特別推薦は、貸付枠に定員があり、審査結果によっては借りられない場合があります。必ず生徒・保護者にその旨をご案内し、ご了解を得たうえで、申請をお願いします。

『足立区育英資金奨学生 学校長特別推薦調書（特例枠）』の記載要領

～必ず確認していただきたいこと～

この特例枠は、通常枠の学業成績以外の応募資格があり、学校生活等において特に秀でた実績があると学校長が特別に推薦できると思われる方が申込むものです。については裏面の評価基準3(具体例)を参照の上、その実績を上回るような方を推薦してください。

なお、直近(各学年前期又は卒業校後期)の学業成績の平均点数が3.1以上(オール3.0含む)場合は、この「特例枠」での申込みではなく、「通常枠」で申込みをしてください。

特例枠(学校長特別推薦)にも、募集枠があり、応募多数の場合は借りられない場合があります。必ず生徒・保護者にその旨をご案内し、ご了解を得たうえで、申請をお願いします。

1 他の奨学金への申請状況 欄について

足立区育英資金貸付事業は、他の奨学金等との併用で申し込むことはできますが、併用して貸し付けを受けることはできません。そのため、最終的に貸し付けの状況を確認する必要があります。ため、必ず他の奨学金等への申込状況を確認してください。

2 担任所見 欄について

学校長特別推薦は、学業成績が平均点上位を満たさない生徒についても、学習面や部活動(スポーツや文化活動)、学級・学校活動、社会奉仕活動、専門分野などの特定の分野において、学校長が特に秀でた実績があると推薦するものです。

本制度の趣旨を踏まえて、担任から見た対象生徒の状況等を具体的に記載してください。

3 学業成績 欄について

本制度の趣旨を踏まえて、ここで記載してもらう学業成績は、参考データです。

4 学業に係る特筆すべき活動成果 欄について

この項目が特例枠として、学校長特別推薦すべき生徒か否かを判断する重要な評価項目となります。

裏面の評価基準(「3」の基準について例示を列挙)を目安にして、(1)の「学習」から(5)の「専門分野」の評価項目について、該当する実績がある活動区分の口の中に、レ点を記入してください。基準よりも成果が出ている場合には、「4」または「5」を、また、基準よりも成果が劣っている場合には、「2」、または「1」を記入してください。

最後に、主な実績等の欄には、より具体的にその成果について記入してください。

5 人物評価 欄について

学校生活を通じた個別評価を行い、評価項目に沿って5段階評価で記入してください。

その際、特筆すべき事由について簡潔に記入してください。

6 学校長推薦総合所見 欄について

1～3の担任記載欄を十分に把握した上で、4の学業に係る特筆すべき活動成果の評価並びに5の人物評価を総合して、学校長特別推薦ができる具体的な所見を記入してください。

7 その他

在学または卒業校名、学校長名は自筆で記入してください。公印を必ず押印してください。

(具体例)

<評価基準 (3の基準)>

※活動実績は在籍期間中の評価となります。

	中学生・高校生等	大学生・専門学校生等								
(1) 学習	英検取得 (日本英語検定協会参照)	英検取得 (日本英語検定協会参照)								
	<table border="1"> <tr> <td>中学3年</td> <td>高校1年</td> <td>高2~3年</td> </tr> <tr> <td>4級</td> <td>3級</td> <td>準2級</td> </tr> </table>	中学3年	高校1年	高2~3年	4級	3級	準2級	<table border="1"> <tr> <td>大学1~4年</td> </tr> <tr> <td>2級</td> </tr> </table>	大学1~4年	2級
	中学3年	高校1年	高2~3年							
	4級	3級	準2級							
大学1~4年										
2級										
漢検取得 (日本漢字検定協会参照)	漢検取得 (日本漢字検定協会参照)									
<table border="1"> <tr> <td>中学3年</td> <td>高校1年</td> <td>高校2~3年</td> </tr> <tr> <td>4級</td> <td>3級</td> <td>準2級</td> </tr> </table>	中学3年	高校1年	高校2~3年	4級	3級	準2級	<table border="1"> <tr> <td>大学1~4年</td> </tr> <tr> <td>2級</td> </tr> </table>	大学1~4年	2級	
中学3年	高校1年	高校2~3年								
4級	3級	準2級								
大学1~4年										
2級										
<ul style="list-style-type: none"> ・学校主催の補習授業に必ず参加している ・1年以内に行われた校内模試などの学年全体が参加した試験において、1科目の成績が学年全体の上位3分の1に位置する実績がある ・各学年前期 (27年10月) の成績で4または5の科目が1つあるなど 	TOEIC (国際ビジネスコミュニケーション協会参照) <table border="1"> <tr> <td>大学1~4年</td> </tr> <tr> <td>583.7 (トータル)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年前期 (27年10月) の成績で4または5の科目が1つあるなど 	大学1~4年	583.7 (トータル)							
大学1~4年										
583.7 (トータル)										
(2) 部活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・地区大会 (地区予選) に参加し入賞した ・学校内の部活動に継続して参加している ・学校以外のクラブ活動に継続的に参加しているなど 									
(3) 学級・学校活動	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動を行なっている ・文化祭 (学園祭) などのイベントにおいて実行委員を継続してつとめる ・学級委員を継続してつとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究発表会で成果を発表した ・文化祭 (学園祭) などのイベントにおいて実行委員を継続してつとめるなど 								
(4) 社会奉仕活動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に継続して積極的に参加している ・足立区の地域活動に関わる表彰を受けたことがある ・募金活動をしたことがある ・ボーイスカウトを続けているなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に継続して積極的に参加している ・足立区の地域活動に関わる表彰を受けたことがある ・募金活動をしたことがある ・ボランティアサークルで活動している ・成人式実行委員として活動したなど 								
(5) 専門分野	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇資格を取得した 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇年において規定する技能検定〇級取得・〇〇資格を取得した ・〇〇研究発表会で成果を発表した ・〇〇コンクールに出場したなど 								

(1)~(5)に挙げている活動実績は標準-3 ですので、いずれか1つでもこれより上位の実績がある場合は5段階の4または5の該当箇所に○を付けてください。

問い合わせ先

足立区教育委員会 学務課 助成係 03-3880-5977

足立区育英資金 所得基準額計算書

※所得証明書類(裏面参照)を必ず裏面に添付して下さい。

家族氏名	年齢	第Ⅰ表	教育費	所得金額
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
計		A	イ	オ

	世帯人数	逓減率 (ていげんりつ)	第Ⅰ表基準額
第Ⅰ表	～3人	A () × 1.0	ア
	4人	A () × 0.95	ア
	5人～	A () × 0.90	ア

※端数処理 逓減率を乗じた額の小数点以下を切り捨て後、1円単位を切り上げる。

第Ⅱ表	世帯員	人	ウ
-----	-----	---	---

基準額(ア+イ+ウ)	エ	>	所得金額	オ
------------	---	---	------	---

注意事項

- ① 記入にあたっては、別紙所得基準額表・所得基準算出例参照のこと。
- ② 所得金額の欄に下記のいずれかを記入する。
 - ア 平成27年度住民税(普通徴収)納税通知書の総所得金額等の金額
 - イ 平成27年度住民税特別徴収税通知書の総所得金額等の金額
 - ウ 平成27年度住民税課税証明書の総所得金額等の金額
- ③ この基準額の計算は、平成27年10月1日現在の状況で計算すること。
- ④ エの額とオの額を比較し、オの額がエの額と同等かそれ以下であれば、申し込みの資格があります。ただし、前年と著しい状況の変化(収入の主たる者の死亡等)があった場合は、オの額がエの額を超えても、申し込みができます。
 - エ>オ → 申し込みできる
 - エ<オ → 申し込みできない

所得証明書添付用紙

次の所得証明書を添付してください

以下の①～③のうち、いずれかひとつが必要です。

① 平成27年度住民税（普通徴収）納税通知書（コピー可）

この通知書は、自分で申告した方（主として事業所得者）について、6月中旬頃区役所から自宅へ郵送されています。

② 平成27年度住民税特別徴収税額通知書（コピー可）

この通知書は、職場を通して申告した方（主として給与所得者）について、5月中旬頃勤務先から配布されています。

③ 平成27年度特別区民税・都民税課税証明書（コピー不可、発行日から3ヶ月以内のもの）

この証明書は、給与所得または事業所得にかかわらず、申告が済んでいれば課税課、または区民事務所で取得できます。

注 意 事 項

- ① 家族のうち、収入がある方全員の所得証明書を必ず添付してください。
(ただし、被扶養者は除く)
- ② 配偶者、扶養人数の記載があるものを添付してください。
- ③ 住民税非課税世帯の場合は、非課税の記載がある課税証明書を添付してください。

学 校 名	中学校 高等学校 高専学校 第 学年 専修学校 大 学	申 請 者 氏 名	
-------------	---	-----------------------	--

足立区育英資金 所得基準額計算書

記入例

	家族氏名	年齢	第Ⅰ表	教育費	所得金額
1	足立 父	47	687,240		3,000,000
2	足立 母	43	687,240		2,100,000
3	足立 兄	17	757,440	234,000	
4	足立 本人	14	757,440	235,515	
5					
6					
7					
8					
9					
10					
計			A 2,889,360	イ 469,515	オ 5,100,000

	世帯人数	通減率 (ていげんりつ)	第Ⅰ表基準額
第Ⅰ表	～3人	A () × 1.0	ア
	4人	A (2,889,360) × 0.95	ア 2,744,892
	5人～	A () × 0.90	ア

※端数処理 通減率を乗じた額の小数点以下を切り捨て後、1円単位を切り上げる。

第Ⅱ表	世帯員	4人	ウ	2,374,935
-----	-----	----	---	-----------

基準額(ア+イ+ウ)	エ	5,589,342	>	所得金額	オ	5,100,000
------------	---	-----------	---	------	---	-----------

エ>オのため申し込み可能

注意事項

- ① 記入にあたっては、別紙所得基準額表・所得基準算出例参照のこと。
- ② 所得金額の欄に下記のいずれかを記入する。
 - ア 平成27年度住民税(普通徴収)納税通知書の総所得金額等の金額
 - イ 平成27年度住民税特別徴収税通知書の総所得金額等の金額
 - ウ 平成27年度住民税課税証明書の総所得金額等の金額
- ③ この基準額の計算は、平成27年10月1日現在の状況で計算すること。
- ④ エの額とオの額を比較し、オの額がエの額と同等かそれ以下であれば、申し込みの資格があります。ただし、前年と著しい状況の変化(収入の主たる者の死亡等)があった場合は、オの額がエの額を超えても、申し込みができます。

エ>オ → 申し込みできる

エ<オ → 申し込みできない

足立区育英資金 所得基準額表

基準額 = 第Ⅰ表 + 第Ⅱ表 + 教育費

第Ⅰ表

年齢は、平成27年10月1日現在

0才	376,200円
1～2才	376,200円
3～5才	474,300円
6～8才	613,260円
9～11才	613,260円
12～14才	757,440円
15～17才	757,440円
18～19才	757,440円
20～40才	724,860円
41～59才	687,240円
60～69才	649,800円
70才～	582,120円

逓減率 4名の場合は、0.95

5名以上の場合は、0.90

*端数処理 逓減率を乗じた額の小数点以下を切り捨て後、1円単位を切り上げ

第Ⅱ表

世帯員数は平成27年10月1日現在

1	2,082,585円
2	2,194,200円
3	2,315,205円
4	2,374,935円
5	2,405,625円
6	2,436,315円
7	2,719,005円
1増毎	30,690円

教育費

学年は、平成27年10月1日現在

小		金	中学校		金
学 校	1	147,315円	中 学 校	1	237,660円
	2	148,965円		2	237,660円
	3	153,915円		3	235,515円
	4	153,915円	高校・高専		234,000円
	5	157,545円	短期大学・		630,000円
	6	157,545円	大学		

注意事項

- ①この表は、平成27年度に募集する奨学生所得基準額表である。
- ②この所得基準額表で算出した金額は、平成26年中の所得に対する基準額である。